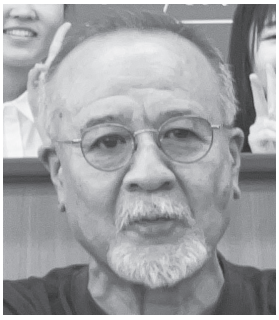
八藤後忠夫 教授　略歴・主要業績



【略歴・職歴等】　　役職を略

1952年　９月　新潟県村上市に生まれる
1971年　３月　地元の公立小中学校を経て新潟県立村上高等学校　卒業

1971年　４月　新潟県教育庁財務課・施設課　主事補（～1973年３月）

1973年　４月　東京学芸大学教育学部 特別教科教員養成課程 D類保健体育科　入学
1977年　３月　　同　　卒業

1977年　４月　幼稚園教育研究所 東京都田無市（現 西東京市）／非常勤講師／和太鼓の授業（～1991年３月）
1978年　４月　埼玉県立蕨高等学校定時制／教諭／保健体育科（～1989年３月）

1989年　４月　東京大学大学院医学系研究科　保健学専攻　修士課程　入学
1991年　３月　　同　　修了
1991年　４月　　同　　博士課程　進学

1991年　４月　神奈川県予防医学協会健康教育センター　出向　嘱託（～1994年３月）
1992年　４月　東京大学医学部／ティーチングアシスタント　有給　（～1995年３月）

1994年　４月　聖路加看護大学看護学部／非常勤講師；医療社会学（～1995年３月）
1995年　４月　浦和学院専門学校看護学科／非常勤講師；公衆衛生学（～1997年３月）
1995年　９月　日本医科大学看護専門学校／非常勤講師；精神保健（～1998年３月）

1996年　３月　東京大学大学院医学系研究科　保健学専攻　博士課程　単位習得満期退学
保健学修士／修医第371号
1996年　４月　東京大学大学院医学系研究科／研究生（～1997年３月）

1997年　４月　目白大学人文学部／非常勤講師；生涯スポーツ科学（～2001年３月）
1997年　４月　文教大学教育学部／非常勤講師；運動と健康（～1999年３月）
1997年　４月　中央大学商学部二部／非常勤講師；保健学講義（～1999年３月）
1997年　４月　埼玉大学教育学部共通教育／非常勤講師；スポーツ実技と理論（～2003年３月）
1998年　４月　秩父看護専門学校／非常勤講師；公衆衛生学（～2001年３月）

1999年　４月　群馬松嶺福祉短期大学 人間福祉学科健康福祉専攻／専任講師（～2002年４月）
1998（平成10）年12月文部省大学設置審議会の教員組織審査による
担当；「運動・健康増進技術」「福祉レクリエーション補助技術」等

2003年　4月　文教大学教育学部 学校教育課程 特殊教育専修／助教授
担当；「障害児教育社会学」「精神医学」「小児保健」等

2007年　4月　同　特別支援教育専修／准教授
同　大学院教育学研究科／准教授
平成18年文部科学省大学院設置審議会の教員組織審査による
担当；「保健体育科教育法特論Ⅰ・Ⅱ」「修士論文指導ならびに副査」等

2023年　3月　学部・大学院とも教授職を経て定年退職.

【主な講演　ワークショップ等】　外部からの依頼を受けた主要なもののみ

シンポジウム『視ること・聴くこと・解ること』 シンポジスト（津久井佐喜男 他と） 主催：神奈川県学校保健学会　神奈川県予防医学協会　1994

シンポジウム『身体の現在；性と健康の自明性を問う　身体のゆくえ；近未来のヒューマンリレーション』 シンポジスト兼 司会・コーディネーター　主催：埼玉県立大学 （埼玉大学 西山賢一 他と） 2000

講演『生命・文化・社会　モノとコトとの科学を考える』（単独）サンケイリビング第４回彩の国大学サテライト公開講座　主催：さいたま市　大宮ソニックシティ　2004

特別講演 『知的障害者支援における物的環境整備の意味と意義』（単独）産技研技術フォーラム　第６回応用福祉工学シンポジウム　主催：大阪府立産業技術総合研究所共催応用福祉工学研究会（代表 大阪大学 院 工学研究科 西嶋茂宏）2011

【研究上の受賞】

第２回文教大学付属生活科学研究所 水島恵一賞　大塚 汐里が受賞

対象論文　大塚汐里（筆頭）八藤後 忠夫：特別支援学校コーディネーター教員におけるワーク・ライフバランス 116-生活科学研究 第42集 PP. 1-9　文教大学付属生活科学研究所　2020

【著書】　翻訳書を含む　★査読あり　☆招待（依頼）あり

☆ 講座：現代の教育第８巻　教師の覚醒　第１章　現代教師の条件　生活者としての教師　分担執筆　PP. 20-29 大橋 幸他と共同　東京学芸大学編集委員会編　1983

☆ ミニコミの同時代史　異議あり！具体アクション　分担執筆　PP. 211-216　丸山尚 編・著　平凡社　1985

☆ 別冊 宝島95　ザ・中学教師　親を粉砕するやりかた　第４章　親の愛情が子供をむしばむ哀しい時代　釣り竿と金属バット　分担執筆　PP. 154-161　諏訪哲二らと共同　JICC出版局　1989

★ 保健・医療・看護調査ハンドブック 「児童・生徒」分担執筆　園田恭一らと共同　東京大学医学部保健社会学教室編　東京大学出版会　P. 99　1992

★ シリーズ：身体のしくみ５　血液の話　分担執筆　血液ってなあに？　PP. 46-53　衛藤 隆らと共同　健康行動教育科学研究会編　風濤社　1994

☆ 高校体育教師の教育観 ― 体育・スポーツ教育を中心に ―（共著・筆頭） 山崎喜比古他と共同　教育アンケート年鑑（下） PP. 特定不可　創育社　1995

☆ 乳癌手術蒼のクオリティ・甲状腺癌手術の合併症と対策　乳癌切除手術後の外見と機能について　分担執筆

PP. 32-43　霞 富士雄らと共同　横浜カンファランス神奈川県乳腺・甲状腺外科研究会編　インターメルク　1994
★ L.S Levin et al：アメリカの医療告発　原題；Medicine on Trial 佐久間 充らと共訳　担当第７章 切り放題 第８章 制度が宿す病原菌 第９章 クスリ漬けの味 PP. 118-163　勁草書房　1997
☆ 運動部活動の諸問題　疲れていないか生徒たち　体育教師が作った本シリーズ１（共著・筆頭）加藤富士雄他と共同　PP. 56-63　埼玉高等学校教職員組合；体育・スポーツを考える会（代表 坂上義雄）　2002
☆ 高等学校における運動部活動顧問の指導実践における負担感の実態について　憑かれていないか教師たち　体育教師が作った本シリーズ２（共著・筆頭）加藤富士雄他と共同　埼玉高等学校教職員組合；体育・スポーツを考える会（代表 大野聡）　PP. 4-16　2002
☆ 民俗芸能で広がる子どもの世界：学校における体験活動の学習素材として取り入れるために　PP. 116-119 社団法人全日本郷土芸能会　2003
★ 生き方としての健康科学　山崎喜比古・朝倉隆司（編）分担執筆　第５章　フィットネスと健康　PP. 42-47 有信堂　初版第１刷　1999
★ 同　第五版第１刷　2017

【主要論文】　★査読あり　☆商業誌（招待あり）　◎科学研究費助成あり

☆ 高校生と教師の関係の自立を：教育幻想のありか　講座 生きがいの設計⑩　（単著）　月刊『望星』東海教育研究所　PP. 108-115　1982
☆ 生徒という集団と私 ― 定時制教師の五年間を振り返って　科学さろん　月刊『望星』（単著）東海教育研究所 PP. 66-71　1983
★ 高校生の授業中の居眠りと運動部活動離れに関わる要因の検討（単著）　東京大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 修士論文　修医第371号　1991
◎ 地域住民の廃棄物のリサイクルに関する知識と行動の日米比較研究（共著）園田恭一（筆頭）他と　日産科学振興財団研究報告書16　（報告論文）　PP. 91-108　日産科学振興財団
★ 健康づくりプログラム促進のための基礎的考察 ― プログラム参加者のデータ解析から２ ―（共著・筆頭）
　本田結と共同　健康医学　日本人間ドック学会誌　第38巻５号　PP. 93-99　1995
★ 高校生の授業中の居眠りに関わる要因の検討（単著）学校保健研究　日本学校保健学会誌　第38巻　PP. 495-504　1996
☆ 首都圏ベッドタウンの人口高齢化と高齢者のケア ― 入間市の保健福祉計画の分析について　佐久間 充他と共同　保健の科学　杏林書院　P. 40　1998
★ 高校生の剣道部活動指導に関する基礎的考察－競技力の差異と活動意識の関連から（共著）　清水恵美他と共同 埼玉武道学研究　埼玉武道学会誌（３）PP. 8-14　2000
★ 高校生の剣道部活動における活動実態と競技成績の関連（共著・筆頭）清水恵美他と共同　埼玉武道学研究 埼玉武道学会誌（３）　PP. 2-7　2000
★ 高校剣道部における活動並びに指導の実態と競技成績の関連について（共著）　門屋絹子（筆頭）他と共同　埼玉武道学研究　埼玉武道学会誌（４）PP. 3-15　2002
★◎ 埼玉県知的障害特別支援学校に通学する児童・生徒の日常生活における福祉用具の利用（単著）知的障害、精神障害及び発達障害者のための日常生活用具の利用調査,平成20年度厚生労働省障害福祉推進事業報告書（報告論文）　PP. 76-85　2007
★ 障害児に関わる“ウエルネス”概念の検討とその構成（単著）　ウェルネスジャーナル第５巻　PP. 51-56　2009

★◎ 知的障害特別支援学校児童・生徒における生活支援機器の利用実態とその背景 （共著） 永倉充と共同　知的障害者及び発達障害者のための福祉用具の開発及び活用に関する調査研究　平成21年度厚生労働省障害者保健福祉推進事業報告書（報告論文） PP. 42-58　2010

★◎ 知的障害・特別支援学校児童・生徒に関わる福祉用具の利用実態とその背景 ― 教員を対象とした調査から ―（共著・筆頭）内藤久美子と共同　平成22年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業報告書（報告論文）知的障害及び発達障害のある人のための福祉用具の制度の在り方に関する調査研究　PP. 132-154　2011

★◎ 保護者アンケート調査 ― 埼玉県知的障害特別支援学校の事例 ―（共著・筆頭）黒田 際他と共同　平成23年度厚生労働省障害総合福祉推進事業報告書（報告論文），発達障害のある人の障害者自立支援法のサービス利用に関する調査　PP. 107-132　2012

★ 木材およびプラスチック，金属を外装に用いた携帯型支援用具に対して自閉症児のある子を持つ母親が抱く印象と嗜好性（共著） 杉山真樹（筆頭）他と共同　木材学会誌第63巻　PP. 21-33　2017

【その他の論考】　　☆招待あり　◎研究助成あり

☆ 健康づくりプログラム促進のための基礎的考察 ― プログラム参加者のデータ解析から１ ―（共著）本田 結他と共同　予防医学　第37号 神奈川県予防医学協会　PP. 77-83　1995

身体といふ世間 ― 学校の風景から（単著）保健・医療・福祉・教育・文化をネットするオープンフォーラム PP. 2-8　1997

運動部活動顧問の指導実践における負担感の実態 ―（共著・筆頭）出口泰靖と共同　保健・医療・福祉・教育・文化をネットするオープンフォーラム　PP. 4-10　1998

健康に関する調査と統計解析　その一歩（単著）保健・医療・福祉・教育・文化をネットするオープンフォーラム PP. 50-53　2000

☆ 運動部活動に関する調査 ― 顧問の先生方の指導の実態について（共著）木戸和夫他と共同　埼玉高等学校教職員組合；体育・スポーツを考える会（代表 坂上義雄） PP. 1-15　2001

小学生における剣道指導の実態とその課題 ― 町の道場の事例から（共著）玉木麻央（筆頭）他と共同　埼玉大学教育学部研究紀要 51　PP. 69-74　2002

“介護等体験”が大学生の障害児・者観におよぼす影響について ― 文教大学の事例から ―（共著）霜田浩信（筆頭）他と共同 文教大学教育学部紀要　第38集　PP. 37-48　2004

いわゆる「悪口を示すことば」使用に対する抵抗感の検討（共著）大久保由紀他と共同　文教大学大学院研究科附属言語文化研究所　言語と文化（17）PP. 1-29　2004

大学生の運動・スポーツとの関わり度に影響を及ぼす諸要因について ― S大学2002年度新入生の調査から ―（共著）宮本梢（筆頭）他と共同　埼玉大学教育学部研究紀要 54　PP. 227-236　2005

障害者の生存権と優生思想 ― 障害児教育への示唆と展望 ―（共著・筆頭）水谷徹と共同　文教大学教育学部紀要　39集　PP. 79-86　2005

障害をもつ子を産み・育てることに対するイメージの生成（第１報）― S県東部K地区における住民調査報告 ―（共著）田中円火と共同　文教大学生活科学研究所 生活科学研究 第28集　PP. 181-194　2006

障害のある子を産み・育てることに対するイメージの生成（第２報）― S県東部M地区における住民調査報告 ―（共著・筆頭）田中円火と共同　文教大学生活科学研究所　生活科学研究　第29集　PP. 259-267　2007

ICT技能が中高年のライフデザインに及ぼす影響（共著）本間正彰（筆頭）他と共同　文教大学生活科学研究所生活科学研究 第29集　PP. 259-267　2007

ICT技能が中高年のライフデザインに及ぼす影響（第二報）― 欧米における現況の概観と日本における関連プロジェクトの事例 ―（共著）渡邊美里（筆頭）他と共同　文教大学生活科学研究所　生活科学研究　第30集　PP. 39-49　2007

知的障害特別支援学校児童・生徒の日常生活における福祉用具の利用実態（単著）文教大学教育学研究科　文教大学教育研究ジャーナル第２巻１　PP. 5-6　2009

児童と教師の対比からみた「理想の教師像」に関する検討（共著）森本圭（筆頭）と共同　文教大学教育学研究科　文教大学教育研究ジャーナル第２巻１　PP. 27-28　2009

保護者への対応が教師のストレス対応能力（SOC）に及ぼす影響（共著）森本圭（筆頭）と共同　文教大学教育学研究科　文教大学教育研究ジャーナル第３巻２　PP. 3-4　2010

◎ 障碍学生の学生支援に関わる学内の環境整備について ― 文教大学越谷校舎の場合 ―（共著）　谷口 清 他と共同　文教大学教育研究所紀要　第20号　PP. 81-90　2011

元荒川の生活誌（第一報）― 文化景観論的アプローチ ―（共著）斎藤修平（筆頭）他と共同　文教大学生活科学研究所「生活科学研究」第34集　PP. 49-58　2012

元荒川の生活誌（第二報・最終稿）― その１ 生活観とその実態が土地・家屋の堅牢性意識に及ぼす影響 ―（共著）佐藤和平（筆頭）他と共同　文教大学生活科学研究所　生活科学研究　第36集　PP. 65-74　2014

学校宿直制度の実態とその検討（第一報）― 廃止直前の頃 ―（共著・筆頭）斎藤修平他と共同　文教大学生活科学研究所　生活科学研究　第38集　PP. 189-194　2016

学校宿直制度の実態とその検討（第二報・最終稿）― その２　聞き書きによる現在の学校教育への示唆 ―（共著・筆頭）　斎藤修平他と共同　文教大学生活科学研究所　生活科学研究第39集　PP. 239-249　2017

大学生の日常生活が学業意欲に及ぼす影響（共著）中下紀子（筆頭）と共同　文教大学生活科学研究所　生活科学研究第39集　PP. 183-192　2017

◎ 文教大学越谷校舎における障害学生の実態把握と支援方策の提言（共著）星野常夫 他と共同 2016年度文教大学教育学部共同研究（競争枠）報告書　PP. 1-39　2018

「木の良さ」をめぐる質的解明（その１）（共著）斎藤修平（筆頭）と共同　文教大学教育学研究科　文教大学教育研究ジャーナル第11巻２　PP. 45-49　2018

「木の良さ」をめぐる質的解明（その２）（共著）斎藤修平（筆頭）と共同　文教大学教育学研究科　文教大学教育研究ジャーナル第12巻１　PP. 29-35　2019

大学生における特別支援ニーズと抑うつレベルの関連（共著）成田奈緒子（筆頭）他と共同　文教大学　教育学部紀要第53巻　PP. 195-205　2019

「木の良さ」をめぐる質的解明（その３）（共著）斎藤修平（筆頭）と共同　文教大学教育学研究科　文教大学教育研究ジャーナル第13巻２　PP. 29-36　2020

特別支援学校コーディネーター教員におけるワーク・ライフバランス（共著）大塚汐里（筆頭）と共同　文教大学生活科学研究所　生活科学研究第42集　PP. 1-9 2020

木の良さ研究（報告書）前編　2020年度版　全24ページ　杉山真樹 他と共同　木の良さ研究グループ　代表世話人　2021

木の良さ研究（報告書）後編　2021年度版　全42ページ　杉山真樹 他と共同　木の良さ研究グループ　代表世話人　2022

「木の良さ」をめぐる質的解明（その４ 最終稿）（共著）斎藤修平（筆頭）と共同　文教大学教育学研究科　文教大学教育研究ジャーナル第15巻１　投稿済み　掲載予定　2023

【活動・運動体雑誌】　執筆ページを略

☆ 障害者と非障害者の架け橋を“かける”（単著）月刊わらじ７月号　特集「かける」 わらじの会　2014

☆ 私はこんな先生がいいなあ！！（単著）月刊わらじ８月号　特集「いくさ」わらじの会　2014

“交流の架け橋”“崖っぷち”に立つのはだれか！（単著）月刊わらじ９月号　特集「がけっぷち」わらじの会 2014

☆ 欲望という“まぼろし”をやっつける（単著）月刊わらじ３月号　特集「まぼろし」わらじの会　2015

内臓感覚としての日本国憲法 その権利意識（単著）月刊わらじ５月号　特集「けんぽう・けんぼう」わらじの会 2016

☆ そこは身体 或は形（かた）である（単著）月刊わらじ11月号　特集「行き着くところ」わらじの会　2017

☆ 逆説 或は イロニーとしての（単著）月刊わらじ７月号　特集「〇〇の平和」わらじの会　2018

☆ 新型コロナ ウイルス騒ぎの中で 大学生の学びへの若干の懸念（単著）月刊わらじ７月号　特集「〇〇の平和」わらじの会2020

以上